

米沢有為会#文化大学

第35回 講演会

令和6年3月10日(日)

米沢における戦後英語教育の実践 ～米沢英語研究懇話会の活動を通じて～

米沢有為会 文化広報部長 手塚 宮雄

総目次

- I 戦前の英語教育 3~8
- II 戦後の英語教育 学習指導要領の改訂 9~10
- III 戦後の英語教科書 中学校・高校 11~15
- IV 山形県英語教育研究会 16~19
- V 入学試験 高校・大学 20~24
- VI 米沢英語研究懇話会 25~34
- VII JETプログラム 35~38
- VIII 東北六県英語教育研究大会・弁論大会 39~42
- IX その後の学習指導要領の改訂 43~45
- X 小学校の英語教育 46~48
- XI その後の米沢英語研究懇話会 49~52
- XII 大学入学共通テスト 53
- XIII 日本英語検定協会試験 54
- XIV まとめ 55

I 戦前の英語教育

1 米沢の英学(者)と英語教育

(1) 興譲館洋学舎創立 明治4年(後に外国语学校)

英国人チャールズ・ヘンリー・ダラスを語学教師として招聘
C.H.ダラス通り(市立米沢図書館前)、顕彰碑(松が岬第2公園内)
他に5名の外国人教師 明治8年までに洋学生67名
訳説・英文法・英会話の他に、地理・歴史・理科・数学などを英語原書で教授(英学)

(2) 私立米沢中学校と改称 明治7年(後に現在の米沢興譲館高等学校)

新校舎落成・開校式 明治19年
以後、外国人教師やその教え子などが英語教育担当

(3) 米沢英和女学校 明治18~28年

米国人ハリス夫妻ら9名の宣教師が英語・聖書・編み物・裁縫などを教授

参考:松野良寅著『興譲館世紀』



チャールズ・ヘンリー・ダラス
Charles Henry Dallas (1842–1894)



2024/01/02

C.H.ダラス通り

市立米沢図書館(ナセBA)前～市民文化会館前108m



顕彰碑(松が岬第2公園内)

松野良寅著
ダラス伝記(1982刊)

5

2 米沢中学校の英語授業の内容

発音、ディクテーション(書き取り)、文法、構文、作文(和文英訳)、
レシテーション(朗唱)、副読本

(例)『パーレーの万国史』(Peter Parley's Universal History)より
History of Japan

Japan is an extensive empire, containing twenty-six millions of inhabitants. These live to the east of China, upon several islands, of which Nippon is the largest. The people live crowded together in large and well-kept cities, and resemble the Chinese in their religion, manners, and customs, and the American Indians in their personal appearance.....

Up to the year 1853, the Japanese had excluded all ships from their ports, except those of the Dutch. In this year, however, a fleet of seven American vessels, the majority of them steam-ships, commanded by Commodore Perry, and sent by the government of the United States, arrived in the bay of Jeddo. The ships anchored in waters never visited by a foreign craft before.

参考:『興譲館世紀』

Peter Parley : 米国の出版業者・児童文学者

Commodore Perry : ペリー提督 1853年 日本来航

6

3 偉大な人物輩出

なぜ明治以降米沢から偉大な人物が輩出したのか
～陸海軍、教育界、官僚・政治家など～

特に、米沢から31名の海軍名提督輩出

大将 3名 山下源太郎・黒井悌次郎・南雲忠一

中将 釜屋忠道ら16名

少将 井内金太郎ら12名

- (1) 過剰士族の次男、三男が上級学校に官費入学して学問を收め立身出世した
- (2) 藩校設立以来教育が普及、特に蘭学・英学が盛ん、成績優秀者が海軍兵学校に入学。入学試験の出題(数学・英学)と解答(文法・地理など)は英語
- (3) 宮嶋誠一郎(後に貴族院議員)と勝海舟(海軍の父)の親交と厚い信頼関係

参考:『興譲館世紀』

7

4 イザベラ・バード置賜盆地(米沢平野)へ

明治11(1878)年、英國の旅行作家イザベラ・バードが47歳のとき、米沢平野(置賜盆地)を訪れ、その美しさを称賛して、The Plain of Yonezawa "an Asiatic Arcadia"(「アジアのアルカディア(東洋の桃源郷)」)であると、Unbeaten Tracks in Japan(『日本奥地紀行』(高梨健吉訳))に書いている。バードはチャールズ・ダラスの旅案内論文「置賜県収録」を読んでいたと言われる。

参考:高梨健吉著『日本英学史考』



イザベラ・バード

Isabella Bird (1831-1904)

*なお、米沢英語研究懇話会会員の今田良子氏(九里学園高校教諭)が「Unbeaten Tracks in Japanの周辺 Arcadia in Orient」と題して、機関誌ACORN第2号から第14号まで連載記事を書いている。

8

II 戦後の英語教育

9

1 学校教育(学習指導要領改訂の変遷) ①

- ・戦後、文部省(2001年より文部科学省)は、教育刷新審議会(1952年より中央教育審議会)の答申を受けて、学校教育の要である学習指導要領を1947年から2016年までの約70年間に試案を含め9回改訂し、教育改革を推進。
 - ・これに基づいて全国の学校は教育課程を編成し、児童生徒の教育や特色ある学校づくりを進めた。
- **1947(昭和22)年**、学習指導要領試案／中学校外国語(英語)：選択科目(週1単位[時間]=年35単位[時間])／中学校用読本 *Let's Learn English, The World through English* で英語教育復興／高校：選択科目(週6単位が理想的)。以後、逐次指導要領の改訂に伴い『学習指導法(外国語科英語編)』、教科書改訂
- **1951(昭和26)年**、同試案 第1回改訂／中学校 選択科目(週4時間=年140時間)／高校 選択教科 第2外国語可能
- **1961(昭和36)年**、第2回改訂／中学校 選択科目(週4~5時間=年140~175時間)／高校 英語・独語・仏語から1科目必修

(学習指導要領改訂の変遷) ②

- **1971(昭和46)年**、第3回改訂
現代化カリキュラム。小中学校の高度化
生徒の能力差に応じた指導
- **1980(昭和55)年**、第4回改訂
選択科目 「ゆとりカリキュラム」 言語活動
中学校：週3時間標準(私立 現状維持)
- **1992(平成4)年**、第5回改訂
選択科目 「聞くこと」と「話すこと」が別領域に
中学校：週4時間も可能
高校：「オーラルコミュニケーション」導入

参考 『学習指導要領小学校・中学校・高等学校』『学習指導要領解説・外国語編』

III 戦後の英語教科書

11

昭和22年より学習指導要領の改訂に伴って、文部省の検定教科書が採択された。*Let's Learn English* や *JACK AND BETTY* から始まって、その後各市区町村教育委員会に置いて、B5判(現在はA4判)にカラー写真や挿絵、付録の多い *NEW HORIZON*, *NEW CROWN*, *SUNSHINE*, *ONE WORLD*, *HERE WE GO, TOTAL ENGLISH* などが採択されている。

1 中学校(戦後直後)

1年 This is a pen. (*Let's Learn English* 文部省 1947 S22)

I am a boy. I am Jack Jones.

You are a girl. You are Betty Smith.

(*JACK AND BETTY* 開隆堂S23)

2年 Didn't you bring your umbrella?

No, I didn't. The weather was shining when I left home.

(*COLUMBUS* 光村図書)

3年 This picture was painted in 1876

This is a book that she wrote last year. (*New Crown* 三省堂)

(現在 米沢市立中学校) **1~3年** *NEW HORIZON English Course 1·2·3*
(音声・映像教材付属 東京書籍)

2 高等学校

12

高等学校でも指導要領改訂のたびに、下記のような新検定教科書が各校ごとに採択されたが、昭和時代の授業は「文法訳読法」が主流だったため、教科書はリーディングを重視して編集された。

- ① 初級英語・英語会話・英語A・B(昭和35年度~)
② 英語I・II(総合)及び II A(聞く・話す)・II B(読む)・II C(書く)
(昭和53年度~)

(授業リーダー(読本)：英語Bの例)

- **1年** Spring in England

In England March is known for its winds and April for its showers. . . . (解説)

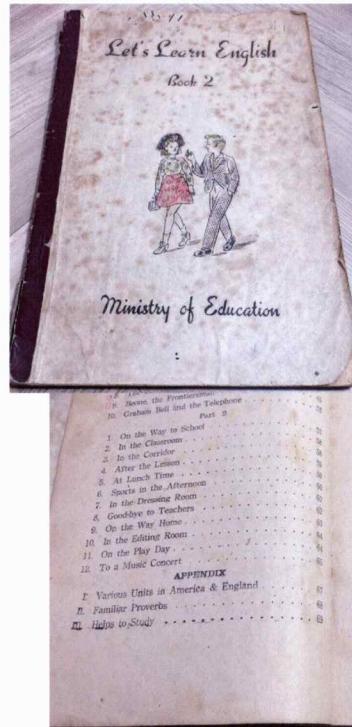
In England spring comes very slowly. Though some early flowers, such as snowdrops, come out. In January, snow often falls and covers them in February. . . . (本文)

- **3年** Maple Sugar Time

With the first sign of spring people get busy in some northeastern parts of the United States, or it is maple sugar time. . . . (解説)

Sunny days in March tell us that spring is on the way. A patch of green may appear here and there through the snow. . . . (本文)

(*NEW HORIZON English Readers* 東京書籍)



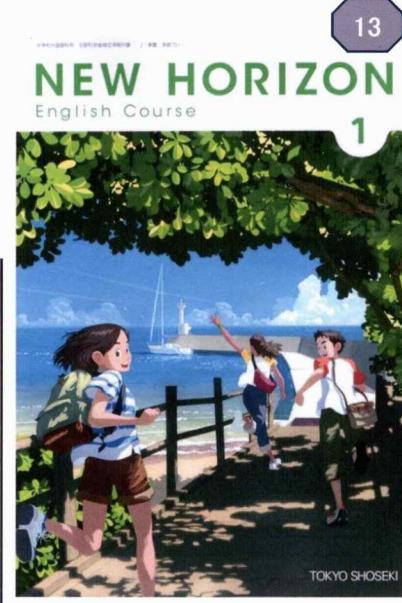
教科書

Let's Learn English
Book 2

Ministry of Education

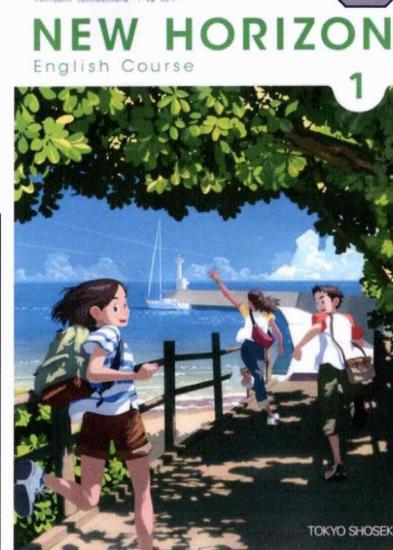
Down, the Presents...
Graham Bell and the Telephone
1. On the Way to School
2. In the Classroom
3. In the Library
4. After the Lesson
5. At Lunch Time
6. Sports in the Afternoon
7. In the Dressing Room
8. Goodbye to Teachers
9. On the Way Home
10. In the Evening Room
11. On the Play Day
12. To a Music Concert

APPENDIX
I. Various Units in America & England
II. Familiar Proverbs
III. Helps to Study



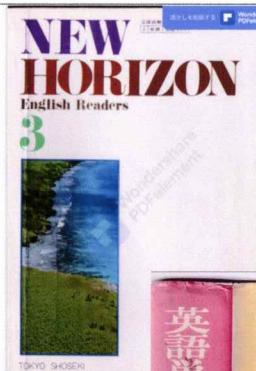
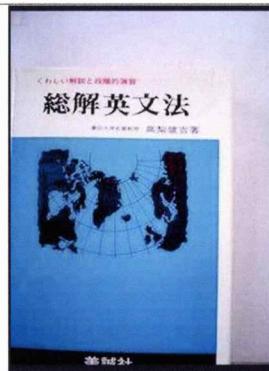
Let's Learn English 2年生用

13



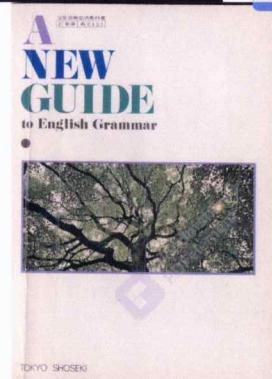
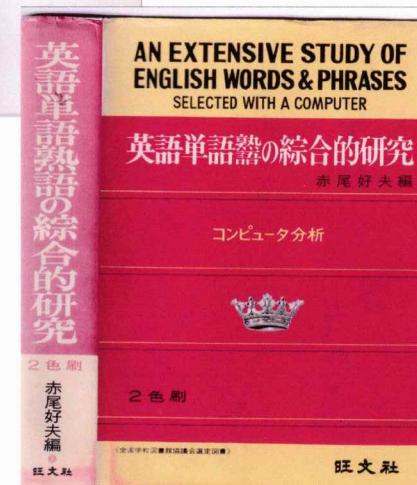
TOKYO SHOSEKI

New Horizon 1



当時の
教科書
・参考書(例)

15



(グラマー(英文法+英作文)の例)

英文法:文・品詞・主要な文法事項・構文・特殊事項

Mr. Young gave his wife a birthday present.(第4文型)

The child might have been killed, if the train had not stopped quickly.

(仮定法)

英作文:和文英訳

今までこんないい映画は見たことがない。

(*A Roman Holiday*,) I have never seen such a good movie.(現在完了)

私は心臓が激しく鼓動しているのを感じた。

(*Before my lecture*,) I felt my heart beating wildly.(現在分詞)

A New Guide to English Grammar(東京書籍 S54)

◆参考書『総解英文法』(高梨健吉著 725頁 美成社 S45)

詳細な解説と段階的演習

『英単語熟語の総合的研究』(赤尾好夫編 旺文社 S47)

見出し語8239 派生語7109 合計15348

入試頻出語2000を赤色で明示

その他△★など10段階で頻出度区別

■平成元年度以降は指導要領の更なる改訂により、「コミュニケーション能力育成」のため、言語活動を重視する教科書①②が刊行され、現在に至っている。

①オーラルコミュニケーションA(→I)・B(→II)・C(→III)・リーディング・ライティング ②英語コミュニケーションI・II・III 論理・表現I・II・III。

14

IV 山形県英語教育研究会

戦後新制中学校・高等学校の発足を受けて、昭和23(1948)年英語教育振興のために中学校・高校合同の研究会が発足した。

1 組織

- 昭和23(1948)年発足 初代会長 上野伊栄太
以後、毎年県内各地で県英語教育研究会や英語弁論大会、中学生夏期英語講習会、英語力試しなどの事業が行われた。

- 昭和38(1963年) 山形県英語教育研究会の下で
山形県中学校教育研究会英語研究部会と
山形県高等学校教育研究会英語研究部会に分離。
以後、中・高別に県英語教育研究会が開催された。

- 本部と支部8支部 山形県英語教育研究会 本部
支部 村山地区 東南村山・西村山・北村山
置賜地区 東南置賜・西置賜
最上地区 最上
庄内地区 田川・鮎海

以後、地区ごとに授業研究会や英語弁論大会、中学生夏期英語講習会、英語力試しなどが行われた。

16

- 会報発行 創刊号『山形県英語教育会報』昭和31(1956年)
会報第10号(昭和40年)より『山形県英語教育』と誌名変更
第11号(昭和41年)より会員全員に配布
現在第68号(令和5年)まで発行
- 山形県英語教育研究会(昭和22~28年)
- 山形県英語教育研究大会(昭和29~39年)(第1~18回)
主に県立高校を会場に開催
- 中学校・高校別に研究大会開催 昭和40年(1965年)より
第1回県中学校英語教育研究大会 10月 蔵王一中
第1回県高等学校英語教育研究大会 10月 山形東高
それぞれ公開授業・研究発表・講演を実施
→ 以後、県中英研大会の置賜地区会場
第4回 南原中 昭和43年、第7回 長井中 S46年、
第10回 赤湯中 昭和49年、第15回 米沢二中 昭和54年、
第26回 米沢三中 平成2年、など順次会場引き受け…

- 高英研大会の置賜会場
第2回 興譲館高 昭和41年、第7回 長井工業高 昭和46年、
第9回 興譲館高 昭和48年、第16回 米沢東高 昭和57年、
第26回 興譲館高 平成2年、第42回 長井高・南陽高平成16年、
など順次会場引き受け…
- 県中・高英語弁論大会(地区予選→県)
昭和24年 第1回 山形第一高校
以後、会場持ち回りで継続中
昭和26年 米沢西高、昭和33年 米沢商業高、昭和44年
米沢興譲館高、昭和48年 長井高、昭和57年 長井高、
昭和61年 米沢女子高、など順次引き受け…
平成20年度より「全国高等学校英語スピーチコンテスト」開催
- 山形県英語教育研究会・中高英語弁論大会
平成7~16(1995~2004)年度 2日間同一会場で開催
平成9(1997)年 東京第一ホテル米沢、
平成10(1998)年 ハイマン・タスホタル



☆ 第 18 号 ☆

卷頭言	田口勝海	1
高等学校英語教育の改善	宍戸良平	2
これからの英語教育(座談会)	佐藤不二雄	5
特集 I 脊椎における英語教育	小林和男 / 細野 浩	7
特集 II 言語活動	早坂健一郎 / 岸 繁子 / 立川時子	
五十嵐京子, 五十嵐見一, 工藤正三, 山口典雄, 吉村 啓	13	
アメリカ留学記	青柳志朗	32
アメリカ南部の生活	三浦数雄	33
第24回全日本中学校英語弁論大会に参加して	伊藤英一	34
英語弁論大会入賞スピーチ	編集部	35
英語教育研究会報告	梅津徳郎 / 丹野靖雄	
研究会本部支部活動状況	塚本 繁 / 松田洋一	38
高校入試・学力テスト問題	各事務局長	42
	編集部	50

山形県中学校教育研究会英語研究部会
山形県高等学校教育研究会英語研究部会
山形県英語教育研究会

V 入学試験

1 県立高校入学試験

昭和29年度より 英語(選択科目)実施
昭和54年度より ヒアリングテスト追加

① 県立高校入学試験問題

(昭和60年度)

ヒアリングテスト、スピーチ文と対話文から
単語と語句の問題、長文読解問題(発音、英問英答、内容一致、
somethingの内容選択、要約文選択、和文英訳)

② 英語力だめし問題

(昭和53年度 3年用)

聞き取り問題、長文読解(英問英答、空欄補充、
題名[日本語]、英文の区切り)、対話文総合問題
(big newsの説明、英文整序、内容一致選択)
長文読解(内容一致選択、接続詞thatの用法、
英文整序による要約、和文英訳)

昭和60年度 山形県公立高等学校学力検査問題

英語

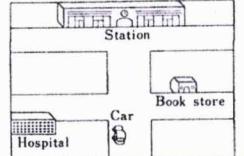
受検
番号

1 これはヒアリング・テストです。放送の指示に従って答えなさい。

No.1

No.2

No.3



No.1

No.2

No.3

No.4

a. 3 people.

b. 4 people.

c. 5 people.

a. Fish.

b. Fruit.

c. Books.

a. In the morning.

b. At noon.

c. In the evening.

a. Ken's mother does.

b. Ken's sister does.

c. Ken does.

No.1	a	b	c
No.2			
No.3	a	b	c
No.4			

3 次の英文を読み、あととの問い合わせに答えなさい。

This morning Takeo got a letter from his friend Mike in Canada. Last year Mike came to Japan with his parents. His father taught English at a college in Yamagata for a year. Mike went to Takeo's school during his *stay.

When he was reading the letter, Takeo remembered the first day he spoke to Mike.

That day Takeo had a club *meeting. When he came back to his classroom after the meeting, he saw Mike there. He was crying. Takeo was surprised and said, "Are you...crying? Why?" Mike said something in English, but he spoke so fast that Takeo could not understand him. "What? Speak...slowly," said Takeo. Then Mike began to speak very slowly with *gestures. They tried to understand each other again and again. At last Takeo got a good idea.

He *picked up a piece of chalk and gave it to Mike. Mike understood what to do. With the chalk he drew a bicycle and a *key on the blackboard. "I see, Mike," said Takeo, "Key...of...your bicycle?" "That's right. I've lost my key!" said Mike.

They began to look for the key together here and there in the classroom. After some time, Takeo cried, "Here! The key! Is this yours?" "Oh, yes!" said Mike, "That's mine. Thank you very much, Takeo." He looked very happy.

After that day they often visited each other's home, talked much, and played together. Mike's Japanese and Takeo's English became better and better. They really became good friends.

A month has passed since Mike went back to Canada with his parents. Takeo went to his desk and began to write to Mike.

(注) *stay: 滞在 *meeting: 会合 *gestures: 身ぶり *picked up: 取り出した *key: かぎ

1 次のアーチの各組の単語で、下線部の発音が同じであるものを二組選び、記号で答えなさい。

① said — friends ② first — fast ③ often — other ④ time — bicycle ⑤ talked — played

2 次の問い合わせに英語で答えなさい。

(1) Did Mike come to Japan from Canada this morning?

(2) How long did Mike's father teach English in Yamagata?

(3) Where was Mike crying?

受検
番号

2 大学入学試験

1期校・2期校試験 国立大学 昭和24~53年(30年間)

戦後の新制大学でも、戦前からの英文和訳、和文英訳偏重の傾向が根強く残っていた。しかし、難問奇問を排し、熾烈な入試競争を緩和するため、高等学校における一般的かつ基礎的な学習の達成程度を問う良質な問題を合理的、客観的方法により選抜しようとして、共通一次試験が開発された

共通一次試験 国公立大学 昭和54~平成元年(11年間)

5教科7科目(1000点満点) マークシート方式解答(その後 二次試験あり)

問題内容: 発音・アクセント・語彙・語法・文法・構文・英作文(語句整序)・

不要文選択・英文読解(長文3問: 内容一致)

時間: 100分 総語数: 2761語 1分間に27.6語

しかし、解答方式は変わったものの、内容的には語彙・文法・長文読解・英作文が中心で以前と余り変わらず、進学率の向上と共に大学の序列化や受験地獄などの批判を受けた。当然、戦後の米沢・置賜の進学校でも1点を争う熾烈な受験競争に挑んでいた

また、二次試験では、長文読解・和訳・日本語による内容説明・英作文が求められた。進学校教員の問題意識: どうすれば生徒の学力を向上させられるか、大学合格率を高められるか。

I 次の英文を読み、下の問い合わせに答えなさい。

How do migrating birds find their way? First we must ask, what possible clues are there? If birds are flying over land, where there are features below that are distinct and stay the same for year after year—rivers, roads, forests, coastlines—then, of course, they can use their eyes. There is plenty of evidence that birds do just this. Many, for example, follow coastlines and thread their way through straits and mountain passes.

When they get very close to where they want to be, many use their sense of smell. Homing pigeons give a clue to this. ("Homing" is not the same as migration. It suggests that pigeons can find their way home when taken by train or truck to some far-distant place and then released. But homing surely has some of the same mechanisms as migration does, and so can give clues to how it works.) It seems that as pigeons get fairly close to their home, they first pick up general smells that tell of bird dwellings—perhaps the general tempting stink of ammonia. As they get nearer, the smells become more specifically pigeon-like. Finally, as they get very close, they recognize the very particular odor of their own flock in its own space. More and more evidence is revealing that humans, too, have a wonderful awareness of odor, even if they do not consciously recognize it, such that they find particular men or women attractive or disgusting according to their primitive substances such as sweat: no doubt a cooling thought for those who like to suppose that human beings have risen above such things. We do not normally think of birds (①) creatures that attach importance to smell, but many of them do, in many contexts.

But what use are visual clues when a bird is above some apparently boundless ocean? What value is smell when it is a thousand miles from where it wants to be? What else is there?

Quite a lot, is the answer. On the visual front, there is the sun by day and the moon and stars by night. These are hard to make good use of unless the bird

else can be figured out. I don't know what the equivalent would be in the Southern Hemisphere, but undoubtedly there is one. Navigation simply does not seem to need the details of astronomy. (adapted from Colin Tudge, *The Bird*)

注 *constellation 星座 *Orion オリオン座 *Taurus 牡牛座

問1 下線部Ⓐについて、筆者が言おうとしていることを、本文に即して具体的な日本語で説明しなさい。

問2 下線部Ⓑに日本語に訳しなさい。

問3 下線部Ⓒに日本語に訳しなさい。

問4 下線部Ⓓの意味を、本文に即して具体的に日本語で説明しなさい。

問5 本文中の空欄①～④に適切な前置詞を一つずつ入れなさい。

VI 米沢英語研究懇話会

1 創設

昭和62(1987)年6月

以来令和4(2022)年3月まで35年間活動

創設者 松野良寅(当時 山形大学教養部教授)

2 創設の目的

- 1 米沢市を中心とした置賜地区の中学生・高校生の英語学力の向上に資すること
- 2 中学校・高校英語教員の研修と研究発表の場を提供すること
(自己研鑽と資質向上)
- 3 中学・高校・大学の英語教員の交流の場を広げること
(英語教育のあり方に関する共通の意識と絆づくり)

3 英懇会員

米沢市・置賜地区の中学校・高校・大学の英語教員 44名 → 68名

賛助会員 米沢市内・置賜地区の協賛者 16名

合計 95名(1999年)

英懇顧問団(続)

速川 和男 (立正大学教授)

日本英学史学会会員→会長 日本ペンクラブ名誉会員)

著書『ユーモアは世界を変える—英訳・今川乱魚のユーモア川柳』など

* 疲れ目に何とよく利くポルノかな(Nothing is more effective

For my weary eyes Than seeing blue films.)

勝浦 吉雄 (立正大学教授 英米文化学会会長→顧問)

著書『日本におけるマーク・トウェイン』など

* 失敗は成功のもと(Failure teaches success.)。

* 積極的に物事に取り組む姿勢こそ肝要

出来 成訓 (神奈川大学教授 日本英語教育史学会会長)

著書『日本英語教育史考』など

* 英語教育は難しいが、教員の情熱と自己研修と中高の協力で、

教育効果を上げてほしい

長谷川 潔 (横浜国立大学教授→関東学院大学大学院教授)

日本英語教育史学会会員 元NHKTV英会話講師

著書『日本の今を世界へ』(視聴覚教材)『私の英語開眼』など

* 国際人として、日本人の英語を堂々と使ってみよう



創立者 松野良寅氏(1926-2012)

昭和18年11月米沢興譲館中学校卒業／20年10月海軍兵学校卒業(第75期)／24年3月東北大学法文学科卒業／24年4月米沢興譲館高等学校教諭／42年4月山形大学工業短期大学部助教授・同教養部教授／平成4年東北芸術工科大学教授／8年3月退職・名誉教授
※米沢有為会の活動にも貢献。初代我妻榮記念館長(平成12-15)

4 英懇顧問団(肩書きは1987年当時)

高梨 健吉 (1919-2010)

(慶應義塾大学名誉教授 大妻女子大学教授)

日本英学史学会会長→顧問

著書『日本英学史考』など多数。イザベラ・バード『日本奥地紀行』

* 英語の発音は難しいので、下腹に力を入れて発音するように努めている

* 若い頃、授業を面白くしようと、ユーモアや笑い話、金言名句、駄洒落などを手帳に書き留めておいた

※川西町小松出身。昭和12年米沢興譲館中学校卒業

英懇顧問団(続々)

名和雄次郎 (拓殖大学教授)

日本英語教育史学会会員 英米文化学会会長)

『速解の英語—速く読んで速く理解するための12章』

* 英文読解では、本文の意味理解、音読練習、Q&Aを経て、英語で内容を要約させることが必要

佐々木正彦 (山形大学教授→名誉教授 2015年より顧問)

論文「コーパスから見た語彙比較:

Spoken English Written English」など

* コーパス(corpora)とは、研究用に収集された大量の言語データで、パソコンで読み書きできる。無料で使用できる英語コーパスサイトがあり、文例入手や英作文点検などに活用できる可能性がある

5 米沢英語研究懇話会 例会(第1~104回)

29

1987年の創立以来35年間、2022年の第104回(最終回)まで例会を開催し、講演(話)や研究発表、座談会などを行ってきた。学習指導要領の改訂や社会の変化を背景に、例会の内容も少しずつ変わってきたが、主な例会の内容を辿ることによって、米沢(置賜)における英語教育の足跡を振り返ることができる。

<第1回> 1987年8月9日

- 講演 ① 勝浦吉雄「日本とマークトウェイン及び翻訳について」
② 出来成訓「本音の英語教育」

- 研究発表 ① 大木礼子(米沢一中)「中学校英語教育における『読むこと』の指導
② 本間和夫(米沢商業高)「Verbal Communicationの中に
潜むnonverbalな一面について」

- ③ 松野良寅(山形大)「英語教師の研究対象について」

<その後の主な例会の内容>

講演「教えることは学ぶこと」長谷川潔(横浜国大)88年 第4回
発表 Team Teachingについて—AETの活用(興譲館高) 第7回
講演「英語教材に見る題材の変遷」青木庸效(神戸大学)
第14回兼日本英語教育史学会 第6回全国大会 90年
発表 英語でコミュニケーションを図る基礎能力と積極的態度の育成
(米沢三中) 91年 第20回／発表 第1回予備校テストから見た置賜地区中
学生の英語学力の実態について(米沢予備校) 92年 第23回／発表 英語
読解力養成のための指導法について(米沢東高)93年 第26回

7 英懇 に『ACORN』

31

松野会長 What is worth doing at all is worth doing well. (諺)
(いやしくもやる価値のあることは、立派に成し遂げる価値がある。)
Great oaks from little acorns grow. (諺)
(大きなオークも小粒のドングリから。)

英國詩人 John Keats(1795~1821)

Acorns ripe down patterning, (秋の微風がうたうとき
While the autumn breezes sing. ポトポトと落ちる熟れたどんぐり)
参考「英語歳時記／秋」(研究社)

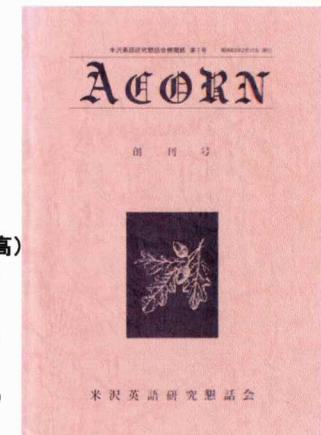
6 機関誌 『ACORN』

30

例会をはじめ本会活動の記録を残すため、毎年機関誌ACORNを発行。創刊号は昭和63年2月。顧問や講師の特別寄稿、会員や賛助会員の研究やエッセイ・連載、中学校・高校の英語科紹介、新刊紹介、会員短信等を掲載し、最終号第35号(令和4年3月)まで継続。

創刊号 目次

- 巻頭言 会長 松野良寅
特別寄稿 一事が万事 顧問 勝浦吉雄
米沢英懇への期待 顧問 出来成訓
もし 顧問 速川和男
私の英語の思い出 賛助会員 中條良悦
研究報告 VERBAL COMMUNICATIONの中に
ひそむ NONVERBALな一面について 本間和夫(米沢商業高)
中学校英語におけるReading指導 大木礼子(米沢一中)
英文解釈泣きどころ 安部光司(米沢東高)
高校英語教科書分析の試み 手塚宮雄(米沢興譲館高)
英語教育雑感 松野良寅(山形大学)
近刊紹介 篠田州雄(米沢興譲館高)
使用教科書一覧 米沢市内6高校 各校で採用
参考書・問題集も 米沢市立18中学校 New Horizon Reader(地域統一)
連載 教科書アラカルト(1) 松野良寅(山形大学)
会員名簿



米沢英語研究懇話会

32



米沢英語研究懇話会第1回例会 昭和62年8月9日



米沢英語研究懇話会創立10周年記念大会 平成8年8月17日



米沢英語研究懇話会第44回例会・公開講演会 平成11年8月21日

VII JETプログラムの導入

JET: Japan Exchange Teacher Program

1 外国青年招致事業（自治省・外務省・文部省など）

1981(昭和56年)Mombusho English Fellows(MEF)として山形県教育委員会が最初に受け入れたのはダニエル・カール氏(米国)。

1987年(昭和62年)より、国際化の進展に伴い、国際交流と外国語教育の充実を図るために、国際交流員と外国語(英語)指導助手(Assistant English (Language)Teachers)の招致を開始した。山形県内にはAETが11名配置され、以後徐々に増員された。

初年度AET全国で848名。

1988年学習指導要領の改訂により、コミュニケーション重視の英語教育に方針転換。2023年現在地方公共団体等で5831名を受け入れ中。

(1) 国際交流員(Coordinator for International Relations)(CIR)

地域の国際交流推進を図るため招致した外国人。翻訳や通訳、国際理解のための交流活動。

米沢市では1995年から1名受け入れ。現在男女2名(秘書広報課・観光課)

(2) 英語(外国語)指導助手

(Assistant English (Language) Teachers)(AET → ALT)

当初県立高校へ配置、その後中学校・私立高校へ。

授業は、学習指導要領の改訂に伴う言語活動の重視により、ALTと日本人教師(Japanese Teacher of English)(JTE)とのTeam-Teaching(TT)の形態をとることになった。

その結果、10年、20年と経つうちに4技能の言語活動が徐々に成果を上げ、JTEの英語指導力や英語力が高まっていた。

米沢市内の4県立高校と2私立高校、8中学校でも、(また、置賜地区や山形県内でも)生徒も教師もコミュニケーション能力を向上させていった。

(若干のエピソード)

2 英語教員研修

文部省は従来国立教育会館筑波文館で中堅英語教員指導者講習会を行ってきたが、平成元年学習指導要領の改訂により国際化と異文化理解、言語活動、教員の指導方法の改善が求められ、JETプログラムが導入されると、講習会の参加者を200人から2000人へと増やした(～平成13年)。また、海外研修者も昭和54年2か月100人から、6か月・12か月150人へと拡大し、平成12年度までに米国・英国・カナダに約4000人が派遣された。

二十世紀どきの英語
講師 関東学院大学大学院教授 長谷川潔先生

送り主を削除する
Word PDF

(1) 昭和63年度 英語教育指導者講座

中学校部会 9月13日～10月12日 高等学校部会 64年2月6日～3月7日

会場 国立教育会館 筑波文館

内容 コミュニケーション・プラクティス(聞く・話す)、LL指導法・演習(聞く)、

指導法演習(読む・授業の指導過程)、その他(テスト問題例)

*自己研修(昭和63～平成3)：

リスニング強化：1000時間ヒアリングマラソン（1か月）

(株アルク English Journalカセットテープ教材)

NHKラジオ・テレビなど

(2) 海外研修

平成3年度 7月26日～9月19日

英國エセックス大学へ 高校教員23名

内容 大学研修(演習・講義・小論文提出)、

ローリング・セミナー(英国内名所見学・演劇鑑賞など)

学校訪問(小学校・高校)、家庭滞在、報告書作成

(3) 他の海外研修

平成2年度 英国(約6か月)米沢東高校教諭

平成2年度 米国(約2か月) 赤湯中学校教諭 約2ヶ月

平成5年度 英国(約2か月) 米沢興譲館高校教諭



37

VIII 第44回東北六県英語教育研究大会

39

東北六県英語教育研究大会・英語弁論大会は、戦後各県持ち回りで開催されてきたが、突然未開催地区の置賜・米沢市で2つの大会を同時開催することが平成4年度の山形県英語教育研究会総会で決定された。

平成6(1994)年10月6日(木) 米沢興譲館高校

大会テーマ：「コミュニケーション能力を育成する英語教育」

1 開会式 9:20～50

2 講演 10:00～11:35

演題 「異文化間コミュニケーション能力を育てる
英語教育」

講師 松畠熙一氏(岡山大学教授)

3 公開授業 11:50～12:40(高校12:55)

4 分科会 13:40～16:10

《中学校の部》

(1)第1分科会「チーム・ティーチングによる授業の工夫」

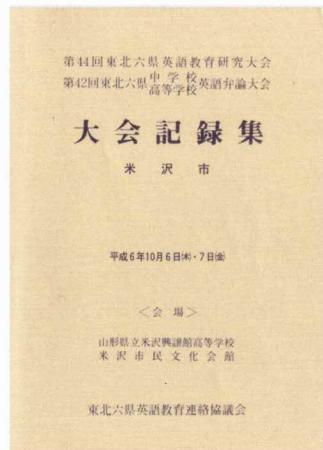
研究授業 米沢一中 遠藤宏子教諭

十米沢市教委ALT Michael Fry 2年生

研究発表者 南陽市立漆山中教諭

岩手県葛巻中教諭

助言者 宮城県・山形県教育庁指導主事



39

英國エセックス大学

38



(2) 第2分科会「コミュニケーションへの関心・意欲・態度の育成」

研究授業者 米沢五中 菅野伸子教諭 1年生

研究発表者 横手市立南中教諭 石巻中教諭

助言者 秋田県教育庁指導主事・山形大学教育学部教授

(3) 第3分科会「コミュニケーションの評価」

研究授業者 米沢三中 加藤俊雅教諭 3年生

研究発表者 八戸二中教諭 会津若松六中教諭

助言者 青森県教育庁指導主事・天童高教諭

《高等学校の部》

(4) 第4分科会「チーム・ティーチングによる授業の工夫」

研究授業 米沢商業高 山川智昭教諭

十米沢商業高ALT Colette Reynolds 3年生

研究発表 寒河江工業高教諭 盛岡第四高教諭

助言者 岩手県教委・山形県教育庁指導主事

(5) 第5分科会「コミュニケーションへの関心・意欲・態度の育成」

研究授業 米沢東高 高橋茂教諭 1年生

研究発表 能代北高教諭 宮城県立利府高教諭

助言者 福島県教育庁指導主事・山形大学教育学部助教授

(6) 第6分科会「コミュニケーションにつながる文法指導」

研究授業 米沢興譲館高 岸順一教諭 1年生

研究発表 青森県立大湊教諭 2名 福島県立湯本高教諭

助言者 山形県教育庁指導主事 山形県立高教頭

40

第42回東北六県中学校・高等学校英語弁論大会

平成6年10月7日(金) 米沢市民文化会館

41

1 英語弁論大会

出場者 中学校の部(暗唱)・

高校(弁論)の部とともに6県代表12名

各部ともに3位まで表彰

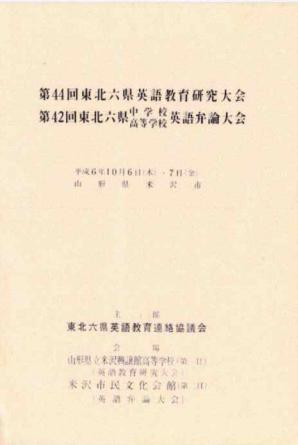
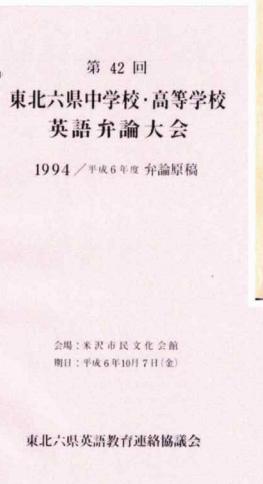
2 講演

講師 ダニエル・カール

(Daniel Kahl) 氏

(IDSインター・トレード
株式会社社長)

演題 「国際交流の狭間で」



記録集

IX その後の学習指導要領の改訂

43

1992年改訂後

- * 1996(平成8)年度 米沢東高校に英米文化コース設置
- 2年次夏休み 米国加州サンタバーバラに12日間研修旅行
- 米沢女子高生(一部)オーストラリアに19日間研修旅行

2002(平成14)年 第6回改訂

- 「生きる力の育成」学校完全週5日制
- 中学校・高校共に必修科目へ
- 「実践的コミュニケーション能力」の育成
- 「総合的な学習の時間」を英語活動に可能
- 「構造改革特区」認定により指導要領の枠外で特別の教育課程を編成できる“外国語特区学校”可能
- 2005(平成17)年米沢商業高生2年次カナダ・バンクーバー修学旅行

2011(平成23)年

- 「生きる力の育成」の継承
- 中学校 週3時間 → 4時間可能に
- 小学校5・6年に「外国語活動」年35単位時間
- 高校に「コミュニケーションI・II・III」英語で授業を原則とする

開式・講演

42



(山形県立米沢興譲館高校)



佐藤多一会長



松崎照一氏

2017・18・19(平成29・30・31)年 第8回改訂

44

情報化やグローバル化の急速な進展を背景に、外国語(英語)のコミュニケーション能力育成の改革が求められ、授業は言語活動を通して4技能の更なる育成が行われ、小学校・中学校・高校の新たな連携と研究・実践が求められた。

・外国語活動の目標 2020年度より小学校3・4年生で実施

外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成すること。

・外国語(英語)科の目標

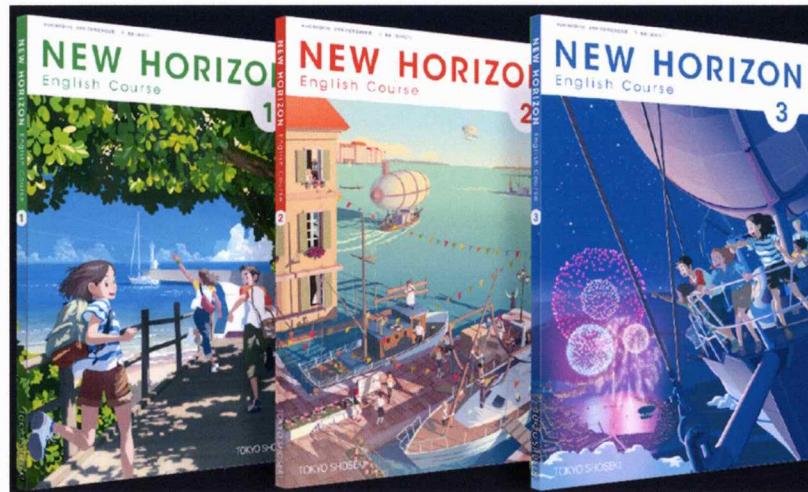
2020年度より小学校5・6年生で実施

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力育成すること。

2021年度より中学校、2022年度より高等学校で実施

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの五つの領域別の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。

その際、コミュニケーション能力は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等(主体的に学習に取り組む態度)」の3つの観点から 定義される。



米沢市立中学校英語教科書

X 小学校の英語教育

**小学校3・4年生 外国語活動 年35単位時間 教材 *Let's Try! 1・2*
(米沢市立小学校) ゲーム・歌・ペア活動など中心の英語に親しむ授業
「聞く」「話す」に重点 音声教材付属**

小学校5・6年生 外國語(英語) 1単位時間45分 年70単位時間

教材 *We Can !* 1-2

(米沢市立小学校)教科書:NEW HORIZON Elementary English Course
5・6+ Picture Dictionary(絵辞典)(東京書籍) 音声教材付属
英単語習得目標600~700語「読む」「書く」追加

3つの観点により評価

- ①知識・技能
 - ②思考・判断・表現
 - ③主体的に学習に取り組む態度

成績評定

- 3:十分満足できる
 - 2:おおむね満足できる
 - 1:努力を要する

川西町の先進的な小学校英語教育

2018年の学習指導要領の改訂により、小学校で英語が教科になるため、山形県川西町では17年「英語教育推進委員会」を立ち上げ、英語の授業の指導案や指導方法の研究と実践に着手した。

- 1 委員： 小野庄士教育長、町立6小学校と1中学校の校長・教頭・
英語専科教諭、ALT,ICT担当教諭など
 - 2 助言者： 山形大学地域教育文化学部 金子淳准教授
 - 3 推進の経緯： ①他校視察・放送大学英語番組受講など ②指導案の
作成(英語専科教諭) ③英語専科教諭とALTの授業実演
④小学校教諭とALTの授業実践 ⑤中学校英語の二種免許状取得
⑥指導案を基に英語専科教諭とALTの授業実演動画制作
⑦教科書の全課指導案作成とYouTubeによるモデル授業の動画限
定配信(1本約15分)(後に全国配信)
 - 4 成果：①モデル授業の動画視聴による指導法の理解
②教諭とALTのTeam Teachingに自信
③教諭とALTの事前準備が短縮
 - 5 表彰：市川道子教諭(小松小学校) 文部科学大臣優秀教職員表彰受賞
令和3年1月12日 英語教育推進リーダーとして町の英語教育
を牽引し教員の指導力向上に貢献

XI その後の米沢英語研究懇話会

49

第100回例会
兼 第58回米沢市PTA研究集会

● 英語教育講演会

講師 直山木綿子氏
(文部科学省教科調査官)
現在、初等中等教育局視学官)
演題 「新小学校学習指導要領における外国語教育のあり方
～移行期に取り組んで起きたこと～」
日時 2018年11月17日(土) 14:45～16:30
会場 置賜総合文化センター ホール
主催 米沢市PTA連合会
・米沢英語研究懇話会
共催 米沢市教育委員会



● 小学校の英語教育について公開講演会

令和元年10月20日(日) 第103回例会 置賜総合文化センター
講師 金子淳氏(山形大学地域教育文化学部准教授)
演題 「小学校英語の教科化について」
川西町教育委員会外国語・英語アドバイザーとして、町内の全5
小学校に共通の英語授業指導案を映像化し、YouTubeの動画で限定
公開した取り組みをはじめ、同町立小学校の英語教育について解説。

51

●米沢英語研究懇話会 第104回例会(最終回) 公開講演会

進行 青木和人
1 日 時 令和4年3月27日(日)
午後2時00分～4時00分
2 場 所 置賜総合文化センター 2階
201室

3次第

- (1)開会のことば 青木和人
- (2)会長あいさつ 手塚宮雄
- (3)講師紹介 布川裕行
- (4)演題「平成29・30・31年
改訂学習指導要領に見る
小・中・高等学校の英語教育」
講師 鈴木涉氏(宮城教育大学
大学院教育学研究科教授、PhD)
- (5)質疑応答
- (6)謝辞・閉会のことば 山田善一



● 市立米沢図書館に 「英語多読コーナー」

令和元(2019)年度4月、岸順一館長が市立
米沢図書館に「英語多読コーナー」を開設。

7月15日(土) 米沢英語研究懇話会
第102回例会 ナセBA

英語多読に関する講演会を開催。
会員・市民40名参加。

講師 西澤一氏
(国立豊田工業高等専門学校教授)
演題 「英語多読とは、継続可能な多読方法」

やさしい英文から始め、テキストの全文朗読音声を
聞きながら読んでいく「聴き読み」をして徐々に英文
のレベルと速度を上げ、長く継続すると、多読の効果
が現れるという。小学校時代から長期にわたって継
続すれば、自然と英語を話す効果も出てくるのではないかといふ。

8月から英語多読サロンと多読相談会を開設。小学生連れの保護者や米沢東高校・
興譲館高校の英語部が部活動として多読に来ている。

米沢英語研究懇話会 第104回例会(最終回) 公開講演会 記録

米沢英語研究懇話会 第104回例会 最終講演会

平成29・30・31年改訂学習指導要領に見る
小・中・高等学校の英語教育

鈴木 涉

宮城教育大学大学院教育研究科教授、PhD

米沢英語研究懇話会

米沢英語研究懇話会機関誌 第35号 2022年(令和4年)3月27日発行

ACORN

第35号(最終号)



米沢英語研究懇話会

機関誌『ACORN』最終号

52

XII 大学入学共通テスト

53

2021年度より、大学入試センター試験に代わって導入された。

5教科30科目、解答はマークシート方式。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する。

外国語(英語)は、リーディング(100点満点、80分)、
リスニング(100点満点、60分:実質30分)。

2024年度

リーディング:チラシ、案内文、レビュー記事、ブログ、学校新聞、
記事とアンケート結果、物語文、説明文
総語数6292語(分速78.65語→157語wpm以上で読めば
(40分)、残り40分で全問解答できるかも?)

リスニング:短い発話、対話、長い対話、複数の対話、講義、2人の会話、
長い会話・議論(イラスト・表・グラフ使用) 総語数1575語、

XIV まとめ

55

1 戦前から戦後にかけての英学と英語教育

明治時代以降、西洋諸国との文化を吸収し、日本の近代化へ、進取の気性

2 戦後、文部省主導の下、英語教育の推進

学習指導要領の改訂と英語教科書の採択、教員研修

3 山形県英語教育研究会の発展

県内各地での授業研究と実践、事業活動の推進

4 米沢英語研究懇話会の活動

米沢・置賜地区の英語教員の研究と実践、交流と協力

5 これからの外国語(英語)教育

一層の異文化交流と日本人らしさ

ご清聴ありがとうございました

XIII 日本英語検定協会試験

54

設立 1963年 財団法人日本英語検定協会 赤尾好夫
2012年 公益財団法人日本英語検定協会

本部 東京都新宿区横寺町55

目的 「日常の社会生活に必要な実用英語の習得及び普及向上に資するため、英語の能力を判定し、また様々な機会を通じてその能力を養成することにより、生涯学習の振興に寄与することを目的とする。」

試験 実用英語技能検定試験: 1級・2級・3級
その後追加: 準1級・準2級・4級・5級
2025年度より準2級プラスが追加

回数 年間 第1回~第3回 各一次試験・二次試験

日程 二次試験でA日程・B日程(・C日程 米沢なし)

受験者 置賜地区内小学校・中学校・高等学校生、一般人

米沢事務局 米沢興譲館高等学校→米沢東高等学校→手塚宮雄

◇ご案内◇

このオンライン講演会の動画が
後日、インターネットYouTubeに登載されます。

(米沢有為会#文化大学 事務局)